

## 損益状況<連結>

(単位:億円)

	28年9月期		27年9月期
		前中間期比	
経常収益	939	△51	991
連結粗利益	728	△39	768
資金利益	593	△16	609
役務取引等利益	120	△9	130
特定取引利益	0	△0	1
その他業務利益	13	△13	26
営業経費	496	△7	504
不良債権処理額	△13	△36	22
株式等損益	△15	△28	12
経常利益	237	△24	261
親会社株主に帰属する中間純利益	167	1	166
自己資本比率	10.28%	△0.61%	10.89%

28年9月期の連結業績につきましては、経常収益は前中間期比51億円減少の939億円となりました。

連結粗利益は、資金利益とその他業務利益が減少したことにより、前中間期比39億円減少の728億円となりました。

経常利益は、株式等損益が減少しましたが、営業経費および不良債権処理額が減少したことにより、前中間期比24億円減少の237億円となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益は、前中間期比1億円増加の167億円となりました。

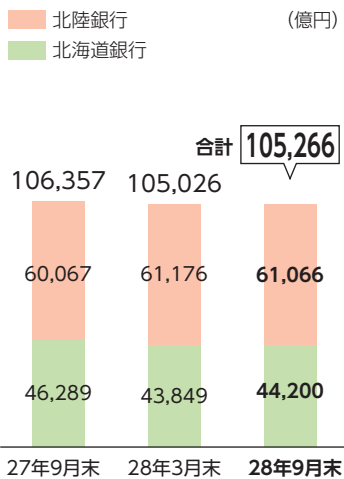
連結自己資本比率は、10.28%となりました。

普通株式配当につきましては、自己資本の状況を踏まえ、中間配当を見送りとさせていただき、期末一括配当1株当たり42.50円\*を予定しております。

なお、優先株式は所定の中間配当とさせていただきます。

\*当社は、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株に株式併合しております。これに伴い、28年度の期末一括配当(予定)を、42.50円としております。

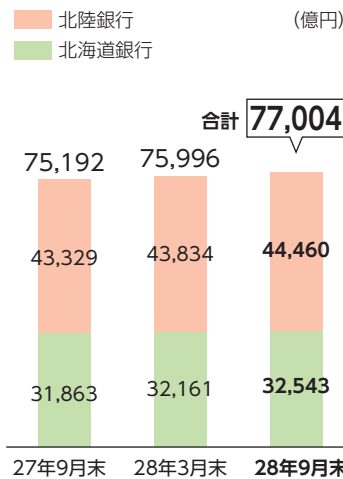
## 預金(含む譲渡性預金)<2行合算>



預金(含む譲渡性預金)  
**10兆5,266億円**

個人預金、法人預金は堅調に増加しましたが、譲渡性預金が減少したことから、前中間期末比1,090億円減少しました。

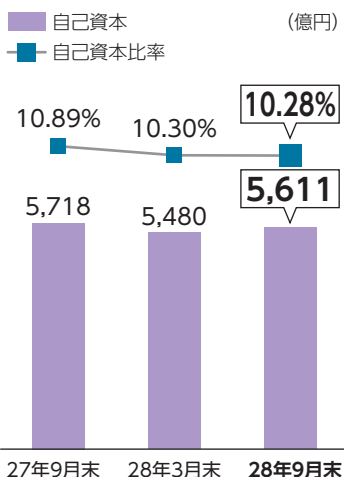
## 貸出金<2行合算>



貸出金  
**7兆7,004億円**

事業性貸出、地方公共団体等向け貸出の増加により、前中間期末比1,811億円増加しました。

## 自己資本比率<連結>

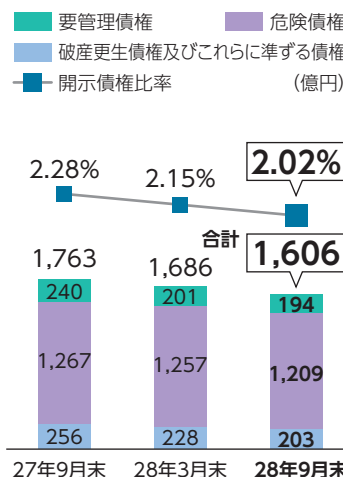


自己資本  
**5,611億円**

自己資本比率  
**10.28%**

利益の積み上げを図った一方、リスクセットの増加により、28年3月末比0.02ポイント低下しました。

## 金融再生法開示債権<2行合算>



金融再生法開示債権  
**1,606億円**

28年3月末比79億円減少しました。

開示債権比率  
**2.02%**

28年3月末比0.13ポイント改善しました。

## 損益状況

(単位:億円)

	28年9月期	前中間期比	27年9月期
経常収益	458	△4	463
コア業務粗利益	368	△9	378
資金利益	315	△0	316
役務取引等利益	47	△6	54
特定取引利益	0	△0	0
その他業務利益	4	△1	6
経費	238	△4	243
コア業務純益	129	△5	134
業務純益*	131	△5	137
与信費用	△10	△19	8
株式等損益	3	△3	7
経常利益	145	15	129
中間純利益	107	24	82
自己資本比率	9.48%	△0.83%	10.31%
※ 一般貸倒引当金繰入前			
連結経常収益	459	△5	464
連結経常利益	145	15	129
親会社株主に帰属する中間純利益	107	24	82

## 預金(含む譲渡性預金)

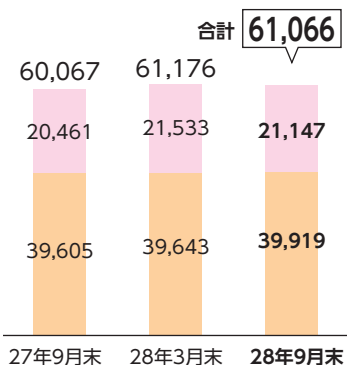
法人等  
個人

(億円)

## 預金(含む譲渡性預金)

6兆1,066億円

法人預金および個人預金が堅調に増加したことにより、前中間期末比999億円増加しました。



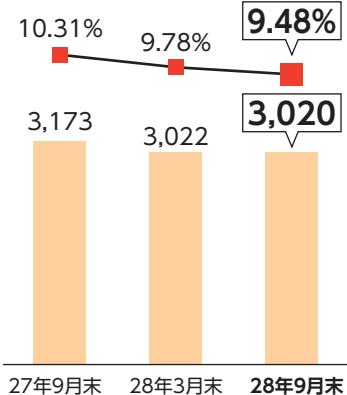
## 自己資本比率

自己資本  
自己資本比率

(億円)

自己資本  
3,020億円自己資本比率  
9.48%

リスクアセットの増加により、28年3月末比0.30ポイント低下しました。



コア業務粗利益は、貸出金利息および役務取引等利益の減少により、前中間期比9億円減少の368億円となりました。

コア業務純益は、経費の減少により、前中間期比5億円減少の129億円となりました。

経常利益は、株式等損益が減少しましたが、与信費用が減少したことから、前中間期比15億円増加の145億円となりました。

中間純利益は、前中間期比24億円増加の107億円となりました。

連結経常収益は前中間期比5億円減少の459億円、連結経常利益は前中間期比15億円増加の145億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比24億円増加の107億円となりました。

## 貸出金

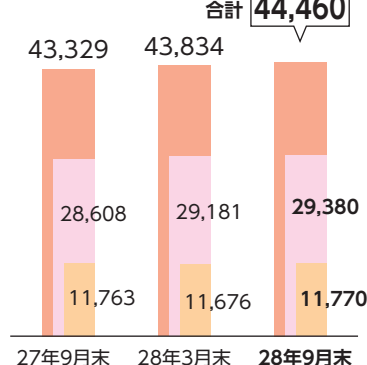
中小企業等  
個人ローン

(億円)

## 貸出金

4兆4,460億円

事業性貸出および地方公共団体等向け貸出が増加し、前中間期末比1,130億円増加しました。



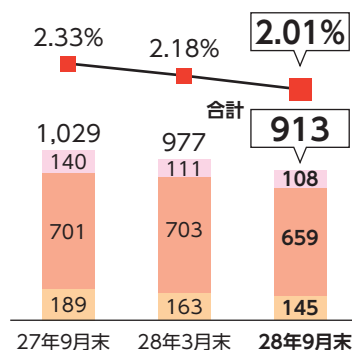
## 金融再生法開示債権

要管理債権  
破産更生債権及びこれらに準ずる債権  
開示債権比率

(億円)

金融再生法開示債権  
913億円

28年3月末比63億円減少しました。

開示債権比率  
2.01%

28年3月末比0.17ポイント改善しました。

## 損益状況

(単位:億円)

	28年9月期	前中間期比	27年9月期
経常収益	405	△49	454
コア業務粗利益	325	△24	350
資金利益	283	△15	299
役務取引等利益	45	△1	47
その他業務利益	△3	△7	3
経費	207	△2	210
コア業務純益	118	△21	140
業務純益*	118	△24	143
与信費用	△0	△8	7
株式等損益	△18	△23	5
経常利益	92	△47	139
中間純利益	65	△31	96
自己資本比率	10.05%	△0.40%	10.45%
※ 一般貸倒引当金繰入前			
連結経常収益	409	△52	462
連結経常利益	92	△41	134
親会社株主に帰属する中間純利益	63	△25	89

## 預金(含む譲渡性預金)

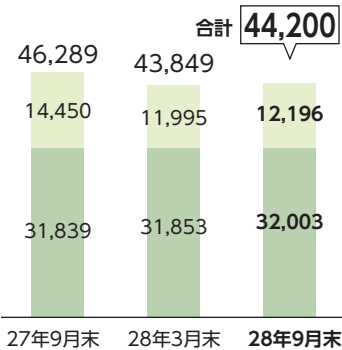
法人等  
個人

(億円)

## 預金(含む譲渡性預金)

4兆4,200億円

個人預金、法人預金は増加しましたが、譲渡性預金が減少したことにより、前中間期末比2,089億円減少しました。



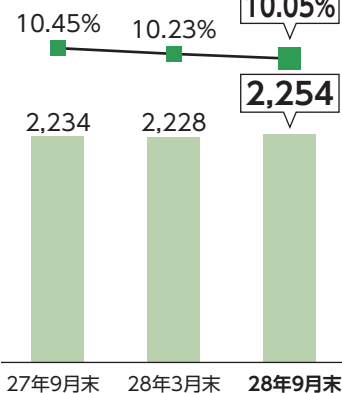
## 自己資本比率

自己資本  
自己資本比率

(億円)

自己資本  
2,254億円自己資本比率  
10.05%

利益の積み上げを図った一方、リスクセットの増加により、28年3月末比0.18ポイント低下しました。



コア業務粗利益は、貸出金利息と有価証券利息配当金の減少により、前中間期比24億円減少の325億円となりました。

コア業務純益は、経費の減少により、前中間期比21億円減少の118億円となりました。

経常利益は、与信費用が減少しましたが、株式等損益が減少したことから、前中間期比47億円減少の92億円となりました。

中間純利益は、前中間期比31億円減少の65億円となりました。

連結経常収益は前中間期比52億円減少の409億円、連結経常利益は前中間期比41億円減少の92億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比25億円減少の63億円となりました。

## 貸出金

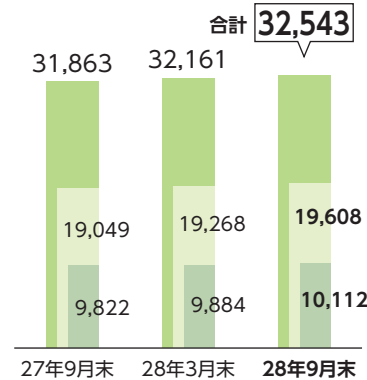
中小企業等  
個人ローン

(億円)

## 貸出金

3兆2,543億円

事業性貸出、個人ローン、地方公共団体等向け貸出とも増加し、前中間期末比680億円増加しました。



## 金融再生法開示債権

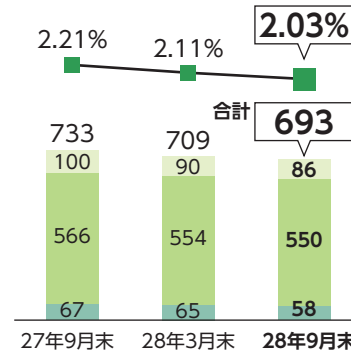
要管理債権  
危険債権  
破産更生債権及びこれらに準ずる債権  
開示債権比率

(億円)

## 金融再生法開示債権

693億円

28年3月末比15億円減少しました。

開示債権比率  
2.03%

28年3月末比0.08ポイント改善しました。